

# 大学生・大学院生の就職志望企業

(『採用ブランド調査2004』より)

株式会社リクルート

リクルートワークス研究所では、大学生の会社選びの構造を明らかにするため『採用ブランド調査』を実施しております。このたび「大学生・大学院生の就職志望企業」(対象は2005年3月卒業予定の大学生・大学院生)の集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

また今年度は、日本経団連発表の倫理憲章の影響により、賛同企業の採用選考が4月1日以降に開始となることから、就職活動が本格化する直前の学生の意識を濃厚に反映した調査となっています。

## トヨタ自動車 大学生、大学院生 共に第一位

トヨタ自動車が、大学生、大学院生の就職志望企業で共に一位となった。世界市場でシェアを伸ばし、一兆円超の純利益見通しなどの好業績となっており、学生にとってグローバルな環境で仕事ができる企業として支持されている。 …P 5

## 倫理憲章に対応した採用活動へ フジテレビジョン躍進

採用活動の早期化に警鐘を鳴らす目的で、日本経団連が制定した倫理憲章の内容を受け、企業の中には、今年度の採用活動(時期・手法)を変更、刷新する動きが見られた。早期に採用活動を行っていたテレビ局各社にも影響が及んだ。とりわけフジテレビジョンは、倫理憲章の趣旨に賛同し、例年より遅めの選考開始時期を設定し、学生への情報提供に十分な時間をかけ、多様な学生との接触を図った。こうした取り組みが学生から評価され、就職志望意向が去年の284位から11位へと躍進した。 …P 5

## 収益改善を果たした大手製造業の支持が回復

自動車メーカーの他、デジタル家電メーカー等の大手製造業を中心に、2004年3月期の連結経常利益が過去最高の見通しになる上場企業が2割を超える等、構造改革による収益改善効果が進んでいる。こうした環境変化を受けて、大手製造業志向が回復したと考えられる。(松下電器産業34位→15位、キヤノン44位→27位、マツダ325位→54位等) …P 6

## 四大銀行をはじめとした銀行各社の回復も顕著

バブル経済の崩壊以降、学生の銀行志望に低落傾向が見られたが、業界再編などの効果により、今年度に入って各行の不良債権処理が一巡し、大学生の業界に対するイメージが回復している。(三井住友銀行23位→14位、UFJ銀行45位→23位、みずほ銀行137位→80位等) …P 6

【本件に関するお問い合わせ先】

[https://www.recruit.jp/support/inquiry\\_press.html](https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html)

## 調査概要

調査目的	2005年3月卒業予定の大学生・大学院生の企業に対するイメージと職業観を把握し、関係各位の参考に供する
調査対象	2005年3月大学卒業予定者(調査時3年生対象)、大学院修了予定者(調査時1年生対象)で <u>リクナビ</u> に登録しているユーザー <b>52万5767人</b> (調査時点)
有効回答数	大学生:1万7176人 大学院生:3223人(大学生、大学院生合わせた回収率3.9%)
調査期間	2004年2月14日～3月7日
調査方法	対象者に電子メールで調査を告知し、弊社調査用ホームページ上で回答
調査内容	<p>就業意識          企業選択の視点 / 12項目23分類          就職志望企業(第1志望から第5志望まで)          志望企業の評価 / 事業側面11分類、組織側面12分類、合計23分類          就職したい企業名を想起し、自由記述で回答(第1志望から第5志望までの合計5社複数回答)          企業選択の視点、志望企業の評価は各分類を5段階で評価を記入</p>

## 集計サンプルの内訳(人)

		大学生	大学院生
全体		17176	3223
文理 内訳	文系	12343	423
	理系	4833	2800
性別 内訳	男性	10879	2631
	女性	6297	592

## リクナビについて

リクルートが開設しているインターネットによる大学生と大学院生のための就職情報サイト。会員は就職情報の収集以外にも、説明会予約や志望企業へのエントリーを行うことができる。登録者は来年(2005年)3月卒業予定で、民間企業へ就職を希望する学生。

リクナビのURLは <http://www.rikunabi2005.com/>

## 調査時期について

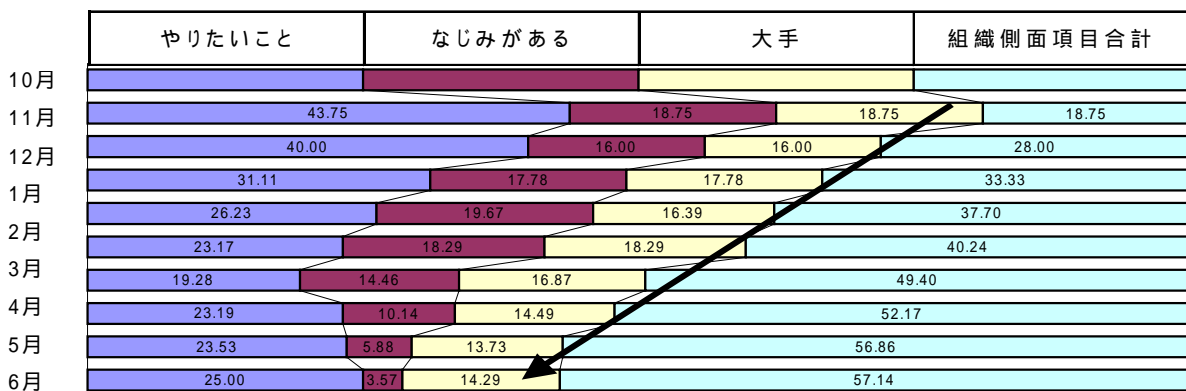
### 調査時期設定の背景

リクルートワークス研究所の『採用ブランド調査』では、**2月下旬～3月上旬**に学生へのアンケートを実施している。この時期は、以下二点の理由で、学生の就職志望企業をヒアリングする上で適切な時期だと考えられる。

- ・学生は、企業との接触を経験することで、「商品ブランド・企業ブランド」から「仕事内容・風土・働き心地」へ関心をシフトする

学生が企業を選別する際の観点は、就職活動の各段階によって異なる。

活動初期には、これまでの消費者・生活者の観点から「商品ブランド・企業ブランド」等に関心が向きがちになるが、時間を経て、企業との接触が増えるにつれ、就職先としての「仕事内容・風土・働き心地」等を重視する傾向になる。



出典：『大学生の就職実態インタビュー2002』（ワークス研究所調べ）

- ・企業による実際の選考が進む直前が、選考結果の影響なく学生の企業観をヒアリングする上で最適な時期

多くの企業の採用選考が始まる4月以降は、志望企業の合否の結果が明らかになっている場合もあり、学生からは別視点からの評価が加わることになる。

特に今年の就職活動においては、日本経団連「2004年度・新規学卒者の採用選考に関する企業の倫理憲章」を企業側が遵守していく機運が高まっており、採用選考活動の開始時期が4月1日以降に集中する見通しとなっている。（630社以上の企業が倫理憲章に賛同。）

従って、本調査結果は、企業による選考が行われる直前の学生の就職観・企業観を反映したものである。

(参考)日本経団連「2004年度・新規学卒者の採用選考に関する企業の倫理憲章」より

#### 2. 採用選考活動早期開始の自粛

在学全期間を通して知性、能力と人格を磨き、社会に貢献できる人材を育成、輩出する高等教育の趣旨を踏まえ、学生が本分である学業に専念する十分な時間を確保するため、採用選考活動の早期開始は自粛する。まして卒業学年に達しない学生に対して、面接など実質的な選考活動を行うことは厳に慎む。

(全文は <http://www.keidanren.or.jp/japanese/policy/2003/100.html>)

## 大学生の志望企業順位

### 大学生の就職志望企業順位 (1位～20位)

順位	昨年順位	企業名	票数	シェア (%)	順位変動
1	6	トヨタ自動車	500	1.06	5
2	7	電通	449	0.95	5
3	1	ジェイティービー	438	0.93	2
4	5	サントリー	387	0.82	1
5	2	日本航空(JAL)	377	0.80	3
6	4	全日本空輸(ANA)	348	0.74	2
7	26	東海旅客鉄道(JR東海)	343	0.73	19
8	11	日産自動車	336	0.71	3
9	3	博報堂	334	0.71	6
10	9	本田技研工業	318	0.67	1

順位	昨年順位	企業名	票数	シェア (%)	順位変動
11	284	フジテレビジョン	308	0.65	273
12	10	積水ハウス	286	0.61	2
12	17	東日本旅客鉄道(JR東日本)	286	0.61	5
14	23	三井住友銀行	276	0.59	9
15	109	富士通	260	0.55	94
15	34	松下電器産業	260	0.55	19
17	8	講談社	256	0.54	9
18	15	日本放送協会(NHK)	255	0.54	3
19	19	東京三菱銀行	232	0.49	-
20	12	ソニー	227	0.48	8

### (21位～100位)

順位	昨年順位	企業名	票数	シェア (%)	順位変動
21	20	株式会社アサツーディ・ケイ	226	0.48	1
22	18	資生堂	223	0.47	4
23	45	ユーエフジェイ銀行	218	0.46	22
24	37	西日本旅客鉄道(JR西日本)	216	0.46	13
25	41	損害保険ジャパン	215	0.46	16
26	16	朝日新聞社	214	0.45	10
27	44	キヤノン	204	0.43	17
28	31	伊藤忠商事	200	0.42	3
29	30	三井物産	198	0.42	1
30	25	日本電気(NEC)	191	0.41	5
31	34	パナソニック	186	0.39	3
32	85	ワイキューブ	179	0.38	53
33	38	オリエンタルランド	175	0.37	5
34	27	三菱商事	174	0.37	7
35	52	九州旅客鉄道(JR九州)	172	0.37	17
36	40	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	168	0.36	4
36	42	大日本印刷	168	0.36	6
38	58	野村證券	159	0.34	20
39	72	ベネッセコーポレーション	158	0.34	33
40	116	KDDI	156	0.33	76
40	14	集英社	156	0.33	26
42	22	日本旅行	155	0.33	20
43	28	凸版印刷	154	0.33	15
43	77	西日本電信電話	154	0.33	34
45	76	デンソー	148	0.31	31
45	62	三井不動産	148	0.31	17
47	63	富士重工	146	0.31	16
48	21	東京海上火災保険	144	0.31	27
49	48	三井住友海上火災保険	142	0.30	1
50	49	サントリーフーズ	137	0.29	1
51	32	エヌ・ティ・ティ・データ	135	0.29	19
52	81	ファイザー	130	0.28	29
53	57	ニトリ	129	0.27	4
54	325	マツダ	128	0.27	271
55	70	シャープ	126	0.27	15
56	39	住友商事	125	0.27	17
57	24	エイチ・アイ・エス	124	0.26	33
58	59	味の素	121	0.26	1
59	123	東京放送(TBS)	118	0.25	64
60	13	近畿日本ツーリスト	113	0.24	47

順位	昨年順位	企業名	票数	シェア (%)	順位変動
61	36	日本アイ・ピー・エム	112	0.24	25
61	29	NOVA	112	0.24	32
63	51	東急エージェンシー	111	0.24	12
64	63	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ	110	0.23	1
65	55	フロッグアウトキャパリティ・システム	109	0.23	10
66	33	ミキハウス	108	0.23	33
67	68	旭化成ホームズ	106	0.22	1
68	77	花王	102	0.22	9
68	47	キリンビール	102	0.22	21
70	94	ヤマハ	100	0.21	24
71	46	カゴメ	97	0.21	25
71	92	国際協力機構	97	0.21	21
73	2070	サッポロビール	96	0.20	1997
74	75	伊勢丹	95	0.20	1
74	96	アイシン精機	95	0.20	22
76	90	テレビ朝日	94	0.20	14
77	73	高島屋	92	0.20	4
77	111	日本生命保険相互会社	92	0.20	34
79	96	セブン・イレブン・ジャパン	90	0.19	17
80	53	日清食品	89	0.19	27
80	137	みずほ銀行	89	0.19	57
82	115	日本中央競馬会	88	0.19	33
83	55	明治製菓	87	0.18	28
83	85	日本食研	87	0.18	2
85	59	日立製作所	85	0.18	26
85	66	ジェシービー(JCB)	85	0.18	19
87	82	東日本電信電話	84	0.18	5
88	66	LVグループ	83	0.18	22
89	119	タカラスタンダード	82	0.17	30
90	134	日本銀行	81	0.17	44
91	43	レオパレス二十二	79	0.17	48
91	100	良品計画	79	0.17	9
91	108	江崎グリコ	79	0.17	17
94	94	日本郵船	78	0.17	-
94	119	日本たばこ産業	78	0.17	25
96	118	三菱地所	77	0.16	22
96	139	東宝	77	0.16	43
96	139	丸紅	77	0.16	43
96	147	ロッテ	77	0.16	51
96	173	中部電力	77	0.16	77
96	854	フェリシモ	77	0.16	758

\*昨年順位の欄の「-」は昨年から今年にかけ新たに登場した企業か、合併等で昨年データが算出できない企業、もしくは昨年と同順位の企業  
 \*表中の「-」は順位の下がったもの  
 \*シェアは、全票数に対する獲得票数の割合

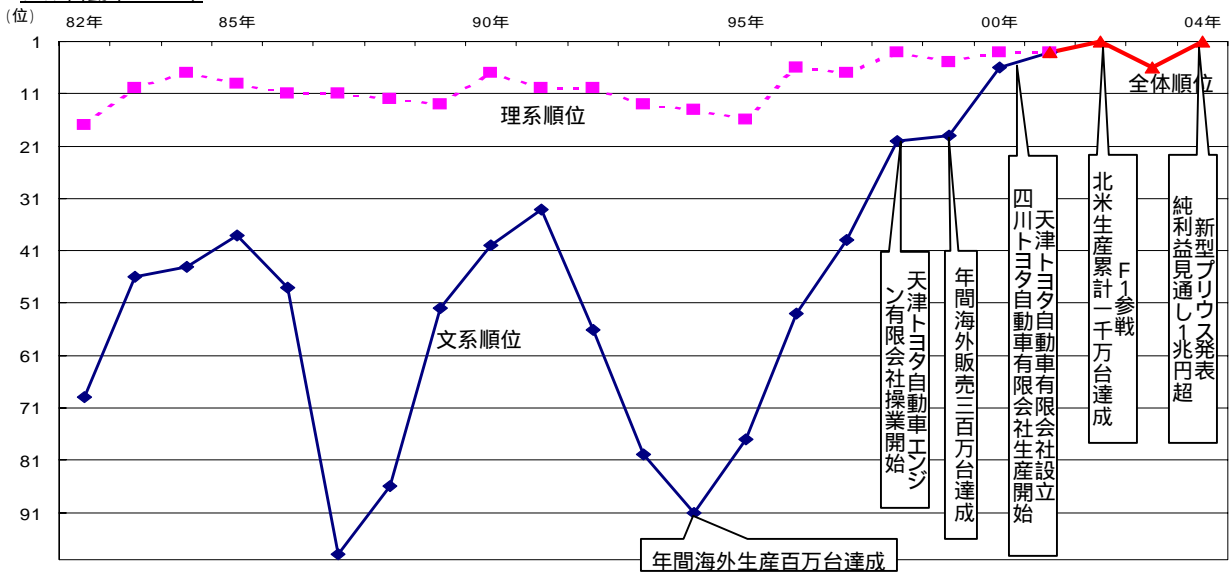
## 大学生の志望企業・解説

トヨタ(6位 1位)  
グローバルな事業展開とともに、志望度が向上

ここ20年の志望企業を見ると、文系・理系問わずトヨタ自動車は上位をキープするようになったのはこの5年ほどのことである。

文系学生におけるトヨタ自動車の志望順位上昇時期は、トヨタ自動車の積極的な海外進出の時期と合致する。グローバルな仕事ができる環境であることは文系学生にとって魅力の一つであると考えられる。

トヨタ自動車の20年



調査実施時の年度表記

出展

1996年調査まで 『大学生男子の人気企業調査』より(男子大学生を対象)  
1997年調査～2001年調査 『大学生の企業イメージ調査』より(97年調査のみ男子大学生対象のデータを使用)  
2002年調査以降 『採用ブランド調査』より  
(2001年調査より、文理を合算して集計)

フジテレビジョン(284位 11位)、富士通(109位 15位)  
飛躍の要因は、“出会いの場”の創出

大きな順位上昇の背景には、体感型・業界研究セミナー、インターンシップなど、学生に仕事を理解してもらうための取り組みが挙げられる。

企業からの情報提供がインターネット主体となっている中で、“出会いの場”を創出する企業が学生に好意的に受け止められていると考えられる。

フジテレビジョン(284位 11位) 倫理憲章に基づき、選考時期を例年よりも遅らせて多様な学生との接触を図った。また、実際に現場で活躍しているプロデューサーが仕事の醍醐味を伝えることで、学生からの高い支持を得た。

富士通(109位 15位) 自社単独での採用イベントを全国的に水平展開し、広く全国の学生に対して富士通に対する認知の向上を図った。

## 大学生の志望企業・解説(業種別)

### 業種別解説

#### 自動車メーカー

コスト削減の努力や新製品の投入などによって、海外市場での売れ行きが好調な自動車メーカーの多くは志望企業順位を上げている。

トヨタ自動車(6位 1位)、日産自動車(11位 8位)、富士重工(63位 47位)、マツダ(325位 54位)

#### デジタル家電メーカー

V字回復を果たした松下電器産業をはじめ、国内でのデジタル家電が好調な電機・機械メーカー各社が健闘している。

松下電器産業(34位 15位)、キヤノン(44位 27位)、シャープ(70位 55位)  
日本ビクター(258位 102位)

#### 流通

大手のイオンが、4年ぶりに薬剤師等専門職以外の大卒者採用を復活したことによって、大幅上昇したのを筆頭に、全般的に堅調である。

イトーヨーカ堂(262位 141位)、イオン(1023位 163位)  
ファーストリテイリング(191位 113位)、良品計画(100位 91位)

#### 銀行

不良債権処理が促進され、四大銀行を中心として業績が回復していることが評価されていることで、銀行各社は順位を上げている。また採用数の増加と、それに伴う学生とのコミュニケーション総量の増加が、業界イメージの向上に影響したと思われる。

三井住友銀行(23位 14位)、東京三菱銀行(19位 19位)、ユーエフジェイ銀行(45位 23位)  
みずほ銀行(137位 80位)、日本銀行(134位 90位)

#### 旅行・運輸

“学生の憧れ”として名前の挙がる旅行・運輸各社は、前年に比べて若干の落ち着きがあるが、依然として旅行・運輸業界への就職意向は堅調である。また国内旅行業務への関心の高まりが、鉄道各社は軒並み順位を上げている。

ジェイティービー(JTB)(1位 3位)、日本航空(JAL)(2位 5位)、全日本空輸(ANA)(4位 6位)など  
東海旅客鉄道(JR東海)(26位 7位)、東日本旅客鉄道(JR東日本)(17位 12位)、西日本旅客鉄道(JR西日本)(37位 24位)、九州旅客鉄道(JR九州)(52位 35位)

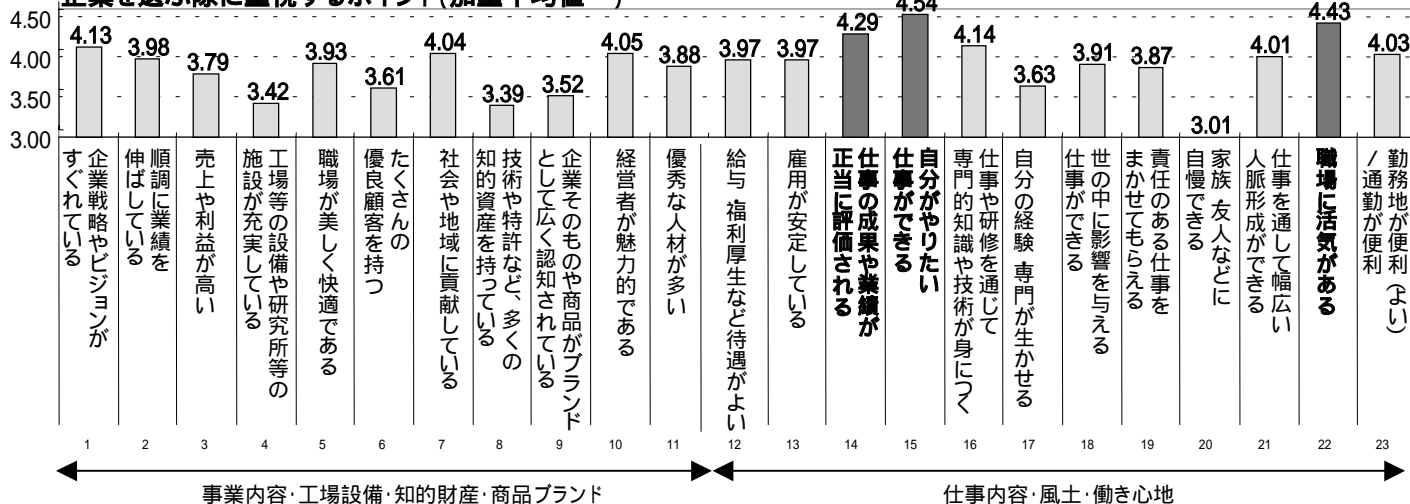
## 学生の企業選択の視点について

学生が企業を選ぶ際の3つの視点は  
 「自分のやりたいこと」「職場に活気」「成果を正当に評価」

学生が企業を選ぶ際には、「自分のやりたいこと」「職場に活気」「業績が正当に評価」の3点をとても重視している。

学生は、企業を選択する際に、事業内容・工場設備・知的財産・商品ブランドなどの「事業評価側面」よりも、仕事内容・風土・働き心地などの「組織評価側面」を強く意識して就職活動に臨んでいると考えられる。

企業を選ぶ際に重視するポイント(加重平均値)



加重平均値は、「とても重視する」5点、「重視する」4点、「どちらともいえない」3点、「あまり重視しない」2点「重視しない」1点と置いたときの平均値

メーカー・銀行の上昇企業は、  
 「やりたいこと」「活気」「正当に評価」のイメージも上昇

今年特に上昇したメーカー・銀行各社について、「会社を志望した理由」を集計した。

これらの企業については、「やりたい仕事」「活気」「正当に評価」のポイントが概ね上昇している。  
 例年、大手メーカー・銀行に関しては、会社の規模や設備に学生の関心が集中する傾向があったが、今年度は仕事の中身や働き心地についても学生から高い評価を受けていることが分かる。

昨年から順位上昇したメーカー・銀行の「会社を志望した理由」(加重平均値)

昨年順位	今年順位	自分のやりたい仕事		職場に活気		成果が正当に評価	
		今年	対前年増減(ポイント)	今年	対前年増減(ポイント)	今年	対前年増減(ポイント)
6位	1位	4.20	0.07	4.23	0.09	4.14	0.07
11位	8位	4.31	-0.1	4.29	0.05	4.09	0.03
23位	14位	4.32	0.17	4.21	0.16	3.98	0.09
34位	15位	4.32	0.11	4.21	0.17	4.16	0.22
19位	19位	4.27	0.12	4.07	0.07	3.91	0.08

(今年度順位20位以内で、昨年度順位100位以内の志望順位上昇メーカー・銀行について集計)

加重平均値は、「とても評価した」5点、「評価した」4点、「どちらともいえない」3点、「あまり評価しない」2点「評価しない」1点と置いたときの平均値

## 就職志望企業順位表 大学生・業界別

## メーカー(電気・電子)

業界順位	企業名	総合順位	昨年順位	票数	順位変動
1	富士通	15	109	260	94
1	松下電器産業	15	34	260	19
3	ソニー	20	12	227	8
4	キヤノン	27	44	204	17
5	日本電気	30	25	191	5
6	シャープ	55	70	126	15
7	日本アイ・ピー・エム	61	36	112	25
8	日立製作所	85	59	85	26
9	日本ビクター	102	258	76	156
9	リコー	102	80	76	22

## 流通(百貨店・スーパー・コンビニ)

業界順位	企業名	総合順位	昨年順位	票数	順位変動
1	伊勢丹	74	75	95	1
2	高島屋	77	73	92	4
3	セブン-イレブン・ジャパン	79	96	90	17
4	イトーヨーカ堂	141	262	58	121
5	ジェイアール東海高島屋	150	126	55	24
6	イオン	163	1023	51	860
7	大丸	219	262	39	43
7	三越	219	233	39	14
9	カインズ	228	240	38	12
10	ユニー	309	408	29	99
10	ローソン	309	196	29	113

## メーカー(自動車・自動車関連・輸送機械)

業界順位	企業名	総合順位	昨年順位	票数	順位変動
1	トヨタ自動車	1	6	500	5
2	日産自動車	8	11	336	3
3	本田技研工業	10	9	318	1
4	デンソー	45	76	148	31
5	富士重工業	47	63	146	16
6	マツダ	54	325	128	271
7	アイシン精機	74	96	95	22
8	三菱重工業	127	147	64	20
9	豊田自動織機	163	227	51	64
10	ヤマハ発動機	178	455	48	277

## 商社

業界順位	企業名	総合順位	昨年順位	票数	順位変動
1	伊藤忠商事	28	31	200	3
2	三井物産	29	30	198	1
3	三菱商事	34	27	174	7
4	住友商事	56	39	125	17
5	丸紅	96	139	77	43
6	ギャガ・コミュニケーションズ	123	50	65	73
7	豊田通商	150	202	55	52
8	日産自動車販売	416	360	21	56
9	阪和興業	427	780	20	353
10	日本サムスン	530	1023	16	493

## メーカー(その他)

業界順位	企業名	総合順位	昨年順位	票数	順位変動
1	サントリー	4	5	387	1
2	積水ハウス	12	10	286	2
3	資生堂	22	18	223	4
4	バンダイ	31	34	186	3
5	大日本印刷	36	42	168	6
6	凸版印刷	43	28	154	15
7	ファイザー	52	81	130	29
8	味の素	58	59	121	1
9	プロクター・アンド・ギャンブルファーイーストリンク	65	55	109	10
10	旭化成ホームズ	67	68	106	1

## 商業(専門店他)

業界順位	企業名	総合順位	昨年順位	票数	順位変動
1	ニトリ	53	57	129	4
2	NOVA	61	29	112	32
3	ミキハウス	66	33	108	33
4	LVJグループ	88	66	83	22
5	良品計画	91	100	79	9
6	フェリシモ	96	854	77	758
7	高見	102	70	76	32
8	ファーストリテイリング	113	191	71	78
9	びあ	123	101	65	22
10	コナミススポーツ	163	191	51	28

## 通信

業界順位	企業名	総合順位	昨年順位	票数	順位変動
1	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	36	40	168	4
2	KDDI	40	116	156	76
3	西日本電信電話	43	77	154	34
4	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ	64	63	110	1
5	東日本電信電話	87	82	84	5
6	ボーダフォン	113	101	71	12
7	エヌ・ティ・ティ・ドコモ関西	127	128	64	1
8	エヌ・ティ・ティ・ドコモ九州	182	185	47	3
9	日本電信電話	297	325	30	28
10	NTTドコモ東海	328	344	27	16
10	テレウェイヴ	328	500	27	172



## 就職志望企業順位表 大学生・業界別

## 金融

業界 順位	企業名	総合 順位	昨年 順位	票数	順位 変動
1	三井住友銀行	14	23	276	9
2	東京三菱銀行	19	19	232	0
3	ユーエフジェイ銀行	23	45	218	22
4	損害保険ジャパン	25	41	215	16
5	野村證券	38	58	159	20
6	東京海上火災保険	48	21	144	27
7	三井住友海上火災保険	49	48	142	1
8	日本生命保険相互会社	77	111	92	34
9	みずほ銀行	80	137	89	57
10	ジェシービー	85	66	85	19

## 旅行・運輸

業界 順位	企業名	総合 順位	昨年 順位	票数	順位 変動
1	ジェイティービー	3	1	438	2
2	日本航空	5	2	377	3
3	全日本空輸	6	4	348	2
4	東海旅客鉄道	7	26	343	19
5	東日本旅客鉄道	12	17	286	5
6	西日本旅客鉄道	24	37	216	13
7	九州旅客鉄道	35	52	172	17
8	日本旅行	42	22	155	20
9	エイチ・アイ・エス	57	24	124	33
10	近畿日本ツーリスト	60	13	113	47

## マスコミ・広告代理店

業界 順位	企業名	総合 順位	昨年 順位	票数	順位 変動
1	電通	2	7	449	5
2	博報堂	9	3	334	6
3	フジテレビジョン	11	284	308	273
4	講談社	17	8	256	9
5	日本放送協会	18	15	255	3
6	アサツーディ・ケイ	21	20	226	1
7	朝日新聞社	26	16	214	10
8	ベネッセコーポレーション	39	72	158	33
9	集英社	40	14	156	26
10	東京放送	59	123	118	64

## 就職志望企業順位表 上位50位 大学院生

## 大学院生の志望企業は上位3位を自動車メーカーが独占

大学院生のランキングにおいては、トヨタに次いで、日産、ホンダが上位を独占した。自動車メーカー各社の業績が堅調であることが評価されたものと考えられる。

## 大学院生の就職志望企業順位(1位~20位)

順位	昨年順位	企業名	票数	シェア(%)	順位変動
1	1	トヨタ自動車	168	1.89	-
2	5	日産自動車	157	1.77	3
3	2	本田技研工業	146	1.64	1
4	10	松下電器産業	126	1.42	6
5	3	ソニー	123	1.39	2
6	4	キヤノン	121	1.36	2
7	7	日立製作所	101	1.14	-
8	13	デンソー	97	1.09	5
9	11	日本電気(NEC)	80	0.90	2
10	14	シャープ	76	0.86	4
11	8	野村総合研究所	74	0.83	3
12	14	東芝	72	0.81	2
12	18	三菱重工業	72	0.81	6
14	16	エヌ・ティ・ティ・データ	68	0.77	2
15	19	東海旅客鉄道(JR東海)	65	0.73	4
15	6	日本アイ・ピー・エム	65	0.73	9
17	30	電通	62	0.70	13
17	62	富士通	62	0.70	45
19	8	三菱総合研究所	61	0.69	11
20	23	富士重工業	59	0.66	3

## 大学院生の就職志望企業順位(21位~50位)

順位	昨年順位	企業名	票数	シェア(%)	順位変動
21	35	三井物産	58	0.65	14
22	53	三菱電機	54	0.61	31
23	17	リコー	53	0.60	6
24	41	西日本電信電話	52	0.59	17
25	20	アイシン精機	50	0.56	5
25	12	資生堂	50	0.56	13
27	24	東日本旅客鉄道(JR東日本)	49	0.55	3
28	38	三菱商事	48	0.54	10
29	38	エヌ・ティ・ティ・コム	47	0.53	9
29	21	日本放送協会(NHK)	47	0.53	8
31	47	サントリー	46	0.52	16
32	43	日本電信電話	44	0.50	11
32	49	富士写真フイルム	44	0.50	17
34	30	三洋電機	41	0.46	4
34	28	博報堂	41	0.46	6
36	62	東京カス	40	0.45	26
37	28	日本総合研究所	39	0.44	9
37	94	富士ゼロックス	39	0.44	57
39	33	川崎重工業	37	0.42	6
40	27	全日本空輸(ANA)	36	0.41	13
40	62	大日本印刷	36	0.41	22
42	33	アクセンチュア	34	0.38	9
42	42	西日本旅客鉄道(JR西日本)	34	0.38	-
42	43	明治乳業	34	0.38	1
45	21	旭化成	33	0.37	24
46	58	伊藤忠商事	31	0.35	12
46	43	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ	31	0.35	3
46	98	大阪カス	31	0.35	52
46	62	花王	31	0.35	16
46	78	ヤマハ	31	0.35	32

\*昨年順位の欄の「-」は昨年から今年にかけて新たに登場した企業か、合併等で昨年データが算出できない企業、もしくは昨年と同順の企業  
\*表中の「」は順位の下がったもの

\*シェアは、全票数に対する獲得票数の割合